

# みんなにキレイを プロジェクト

世界中にトイレと手洗いを

# LIXIL



世界では現在、約35億人が安全に管理された衛生設備（トイレ）を使用できない現実があります。

そのうち約4.1億人が日常的に屋外で排泄を行っています。

不衛生な水と劣悪な衛生環境に起因する疾患\*により、毎日**1,000人以上**もの5歳未満の子どもたちが命を落とされています。

LIXILは「優れた製品とサービスをを通じて、世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献」する企業として、この世界的な問題に取り組んでいます。

\*不衛生な環境や汚れた水は下痢性疾患の他、コレラ、赤痢、腸チフス、肝炎、土壌伝播蠕虫感染症などの感染症の伝染と関連します。またマラリア、急性呼吸器感染症（肺炎など）、たんばく質エネルギー栄養不良の原因にもなります。

## みんなにキレイをプロジェクト 寄付金例

※2018年の価格に基づく



20～25ドル

- 一家に一台トイレを設置できます
- 学校に石鹸を100個提供できます



50～55ドル

- 17人の生徒が正しい衛生習慣を学べます
- 浄水タブレット1万个を提供し、安全な飲料水を家庭に届けることができます



90～100ドル

- 3人の女子生徒が衛生的に管理された学校のトイレを使用できます
- 15個の蓋つきバケツを確保でき、清潔な状態を保って水を運べるようになります



160～175ドル

- 3～5家族が正しい衛生習慣を身に着けるための衛生キット\*が提供できます
- \*水を保管する容器、バケツ、石鹸、浄水タブレットやおまるを含む



3,250ドル

- アフリカの農村地域の学校1校に衛生的なトイレ、手洗い場、飲み水を導入できます



Dave Mateo 博士

株式会社LIXIL インパクト戦略室 室長

LIXILは、「グローバルな衛生課題の解決」をインパクト戦略の優先取り組み分野の一つとして位置づけ、2025年までに1億人の衛生環境を向上させるという目標を掲げています。「みんなにキレイをプロジェクト」による寄付金は、LIXILの対象商品のご購入が、LIXILとユニセフ（国連児童基金）のグローバルパートナーシップ「MAKE A SPLASH!」を通じ、トイレや手洗い習慣を促進するグローバルな衛生環境の改善につながるプロジェクトです。

プロジェクトの寄付先であるケニアは、経済発展が進む一方で、基本的な衛生設備を利用できていないのは人口の4割に満たず、深刻な衛生課題を抱えています。約360万人が衛生設備を利用できず屋外の排泄を余儀なくされている現状があります。また、近年は干ばつや大雨・洪水が頻発しており、その被害の結果となる衛生環境の悪化により、感染症のリスクの増大にも繋がっています。

前回のプロジェクトで集められた寄付金はケニアで基本的な衛生設備を使用できない約22万5千人の衛生環境改善に貢献する活動に使われています。また、「学校トイレ改善プログラム（STEP）」を通じて、50の学校の15,000人の生徒が学習環境で安全なトイレを利用できるように目指す取り組みに活用されています。

私が昨年4月にケニアに訪れた際は、農村地域で保健推進者が衛生習慣の啓発活動に取り組んでいる様子や、村や農園にSATOトイレやSATO Tapを含むトイレや手洗いが設置されている状況を見ることができました。また、学校では男女別で、さらに障がいのある児童にも配慮したSATOトイレが新設されていました。学校の先生からはトイレの新設により特に女子生徒の欠席が減ったという嬉しい報告もありました。

衛生環境の改善のためには、設備（ハード）を導入するだけでなく、正しく使ってもらう習慣を地域の住民や子供たちに啓発したり、そもそもトイレや手洗い設備を設置したい人が販売元にアクセスできるような市場を作っていくなど、活動を持続的にするためのソフト面の支援も必要です。

「みんなにキレイをプロジェクト」をご支援いただきありがとうございます。MAKE A SPLASH!を通じて、皆様と共に私たちは世界の生活環境を改善し、笑顔をもたらし、重要なグローバルな衛生問題に取り組んでいます。継続的なご協力に心より感謝いたします。

活動の詳細は  
こちら

